

# Tricolor

## 大会・公式戦結果

### 小3

#### 【神奈川区リーグ】

vs EMSC	0-3●
vs 横浜かもめ SC	0-3●
vs CFG-YOKOHAMA	0-3●
vs FC ビッツ	2-1○

### 小4

#### 【市春季少年サッカー大会】

vs 野庭キッカーズ	1-6●
vs あざみ野 FC	1-10●
vs FC ねぎし	0-1●
vs FC 奈良	0-0△
vs 長津田ドラゴンズ	0-2●
vs 戸塚 FC	2-1○

### 小5

#### 【神奈川区リーグ】

vs CFG-YOKOHAMA	2-2△
vs EMSC	2-1○

### 小6

#### 【JFA U-12 リーグ】

vs 横浜 F マリノスプライマリー0-12●	
vs 西本郷 FC	3-2○
vs 嶮山キッカーズ	1-2●
vs YTC.FC	1-1△
vs 大豆戸 FC B	2-4●
vs 野庭キッカーズ	2-2△

## JUNIOR YOUTH

#### 【日本クラブユース選手権 U-15】

vs JFC FUTURO SAGAMI	0-2●
----------------------	------

#### 【横浜市長旗杯】

vs FC66	0-2●
---------	------

#### 【県 U-15 リーグ】

vs 足柄 FC セカンド	4-1○
vs 横浜栄 FC セカンド	2-0○
vs 横浜 FTAR	5-1○
vs SEISA OSA	2-1○
vs KAZU SC JY B	4-0○

#### 【県 U-14 リーグ】

vs FC COJB	5-1○
vs 神奈川湘北 FC	1-1△

## YOUTH

#### 【日本クラブユース選手権 U-18】

vs 東京 23FC U-18	0-5●
vs プロメテウス EC	2-4●
vs ジェフユナイテッド市原・千葉	0-6●

## Papas

#### ☆Rec

#### 【県四十雀 4 部リーグ】

vs 明星クラブ	0-0△
vs 鶴が台	2-2△
vs FC430	2-0○

#### ☆Comp

#### 【県四十雀 1 部リーグ】

vs 多摩クラブ	1-1△
vs 川崎 40	0-0△
vs 西湘 WingsFC	1-7●
vs TFC	1-0○

## 中本理事長掲載記事について

かながわクラブ理事長である中本 洋一 の記事が日刊 premium(WEB 版)に掲載されました。無料登録すると全部読めます。

<https://www.nikkansports.com/members/sports/news/20220501000862.html>

## 今、グラウンドでは・・・

### TOP

#### 【県リーグ第3節】

かながわクラブ TOP チームは、5月8日(日)に県リーグ第3節を行い、1-5(0-1,1-4)で FIFTY CLUB に敗れました。試合の入り方は重要なことなのですが、序盤は相手のゆっくりとしたペースに合わせてしまいました。後半はこちらのペースになっていたのですが、どうしてもゴールを割ることができません。そうしているうちに、FIFTY CLUB の得点により相手のペースになってしまいました。試合の流れは重要なファクターです。

今月は3週連続の県リーグで、残り2試合、どちらも強豪チームとの対戦ですが、臆することなく戦っていきたいと思います。特に5月22日(日)のはやぶさいレブンとの試合はしんよこフットボールパークでのホームゲームですが、相手の応援団が多く来場する可能性があります。遅い時間になりますが、みなさまに見に来ていただき、相

手の応援に負けないような応援をお願いいたします！

#### 【試合予定】

■5月15日(日) 10:30 K.O.

vs 品川 CC 横浜

@東戸塚 FP

(駐車場はありません)

■5月22日(日) 19:05 K.O.

vs はやぶさいレブン

@しんよこフットボールパーク

#### 【オフィシャルサイト TOP チームページ】

<http://www.kanagawaclub.com/topteam.html>

(中本 洋一)

### YOUTH

4月は、日本クラブユースサッカー選手権(U-18)関東予選の3試合を行いました。県外の強豪ユースチームを相手にして、予想とおりの厳しい試合が続き、結果は3敗で一次予選敗退となりました。結果だけ見れば3戦3敗ですが、選手たちは助っ人で参加した中学生たちを引っ張りながら最後まで非常によく戦うことができていました。それぞれの試合において見せ場を作ることができ、手応えを感じることができ、大会を通じて収穫を得ることができたと感じています。選手たちには、今回の経験を活かしてさらに成長できるように、何が足りなくて、次の大会までにはどうなりたいか。そのためには日々どのように取り組むべきかをより具体的にイメージしながら日々の活動に取り組むように話をしています。ま

た、選手たちの多くは高校1・2年生で、もう一度この大会に挑戦することができます。クラブチームにとって年に1回の全国に繋がるこの大会を他チームであれば最高学年で1度だけ経験できるかどうかだと思います。そういった大きな大会を高校生のうちに2回以上挑戦することができることは、非常に大きいです。今回の経験を無駄にせず、来年の大会および今後の活動に繋げていてもらいたいと思います。

次の目標は6月からスタートする高円宮杯 JFA U-18 サッカーリーグとなります。選手たちは次の目標に向けて日頃の活動にモチベーション高く取り組むことができています。体験生も多く参加してくれていて良い刺激となり、活動に活気が出てきています。少しでも良い状態で次の大会を迎えられるように引き続き取り組んでいきます。

(豊田 泰弘)

### JUNIOR YOUTH

4月は数多くの公式戦を戦いました。

トーナメント形式であった日本クラブユースサッカー選手権 U-15、横浜市長旗杯ともに1回戦で敗退してしまったのが非常に残念です。両大会ともに勝てない相手ではなかっただけに非常に悔いの残る悔しい結果となりました。一発勝負のかかった試

合で実力を発揮することができないのは、やはり取り組みに甘さや隙があるからだと思います。大事な試合で実力を発揮するところまでもっていけなかった指導者の責任も大きいと感じていますが、この敗戦を通して選手たちが最大限成長できるよう取り組んでいきたいと思います。

U-15リーグはここまで無敗の5勝1分で、暫定2位という順位につけています。選手たちも非常にモチベーション高く取り組むことができ、一戦一戦試合をこなすごとに個人としてもチームとしても大きく成長することができています。試合をして、試合で出た課題を練習で克服し、次の試合をする。さらにその試合で出た課題を克服できるように練習に取り組むという好循環を続けることができ、絶対に負けられないという緊張感と絶対に首位を取ると高いモチベーションを保ったまま活動に取り組むことのできたこの1カ月は、選手たちを飛躍的に成長させてくれました。残りは3試合で上位対決が残されていますが、出来る限り良い準備をして試合当日を迎えられるように取り組んでいきます。

(豊田 泰弘)

5月からU-14リーグが始まりました。すでに2試合行い、戦績は1勝1分けです。グループステージ1位を目指して頑張っていきたいと思います。

4月からはオフザボールの選手の準備に関して練習してきました。体の向きだけでなく、ボール保持者の状況と相手の立ち位置を見て、いつ準備するのか、どこに準備するのか、周りを見ながら(連動して)準備できているか、に関してトレーニングしてきました。1ヶ月で準備に関しては少しずつ良くなってきていますが、もっと早く準備できると思っています。早く良い準備をしようと心がけるだけではだめです。周りの状況を見て、瞬時に判断して移動しなくてはなりません。

5月は周りの状況を見ることと判断のスピードをさらに上げて良い準備をすることを心がけてトレーニングしていきましょう。さらに5月はボールを受ける前に確認しなければいけない事、確認した状態でボールを持った時の判断に関してトレーニングしていきたいと思います。サッカーは自ら判断していくスポーツです。プレー中だけでなく、私生活の中でも自ら考えて行動する習慣をつけましょう。

保護者の皆様、今後ともよろしくお願ひいたします。

(今川 暉一朗)

ジュニアユースとしての活動が始まって1か月。選手には「足下の技術」を常に要求しています。思うようにボールが扱えないようでは思ったようなプレーをすることはできません。

日々の練習から、個々がどのくらいの「危機感」を持って取り組んでいるのかを今一度考えて取り組もう。また、練習前後の過ごし方の話もしました。自分が練習や試合で良いパフォーマンスをするために何をすべきかを考えて過ごしてほしいと思います。

コーチや親はみんなが上手くなるためにいろいろなことを言うと思います。ただ、やるのは自分です。1人1人の「意識」を変えていきましょう。

(古山 未来)

## 小6

4月からU-12リーグが始まり、すでに8試合行い、残り1試合となりました。戦績は2勝2分け4敗となりますが、1試合ごとに成長することができています。動きながら正確にプレー出来ている場面はまだまだそこまで多くはないですが、ボールを持っていない時の準備に関しては良くなってきていると思います。試合に勝ちたい、出たいという選手は沢山いますが簡単に勝てる相手はいないし、全員が試合に長く出場できるわけでもありません。試合に勝つ、試合に長く出場するためにはトレーニングにどれだけ本気で取り組んでいるかです。上手な選手だけが試合に出るわけではありません。足の速い選手、体が大きくてあたり負けない選手、チームのために走れる選手、さまざまな選手がいます。

もちろん何も特徴がない選手だっています。そのような選手たちは私は、今の小6年代では成長しようと頑張れる選手になってほしいと思っています。コーチの話を聞いて、すぐに実行しようとしているか、失敗しても良いからチャレンジしようとしているか、考えてプレーしているか、サッカーだけでなく私生活の面でも自立しようとしているかなどがあります。成長していけるようにトレーニングに本気で取り組んでいきましょう。

保護者の皆様、子どもたちが少しずつ自立していけるようご協力のほどよろしくお願いいたします。今後ともよろしくお願いいたします。

(今川 暉一朗)

## 小5

4月は練習試合や神奈川県リーグがあり、対外試合をする機会がありました。5年生になり初めての対外試合となりましたが、皆集中して一生懸命取り組むことができていました。やはり重要なのは、どの試合も100%全力で取り組むことだと思います。練習中の紅白戦も、練習試合も、公式戦も、試合によって加減することなく、どの試合も出場するからには100%全力で取り組んでみてください。

試合の際にはできる限り参加した選手全員を出場させられるように取り組んでいきます。しかしながら、試合数が限られる公式戦の場

合には、出場時間が極端に少なくなってしまう場合もありますことを予めご了承ください。対外試合も重要な練習となりますので、定期的に練習試合を組んで、練習試合においては皆が平等に出場し、プレーできる時間を確保していくつもりであります。

また、今年度は6年生の人数が少ないこともあり、6年生の試合に助っ人参加する選手が今後も発生します。その都度助っ人参加のお声かけをさせていただきますので、誘われた選手はぜひ積極的に参加して、思い切りプレーしてみてください。

どの選手も皆個性的で特徴があり、今後のさらなる成長が非常に楽しみです。引き続き楽しく一生懸命、活動に取り組んでいてみてください。

(豊田 泰弘)

## 小4

新年度が始まり、早々に春季大会がありました。なかなか結果を残すことはできませんでしたが、一人ひとりが一生懸命にプレーしてくれていました。

4年生になり、よりサッカーが個人としてもチームとしても競技性の高いものになってくる中で、少しずつ技術の向上と頭の中の整理をしていくことができるようにコーチ陣も努めていきます。私自身も早く子どもたちの特徴を掴んで、それぞれに合ったアドバイスや声か

けができるように努めていきますので気になることがありましたら気軽にご相談いただければと思います。

5月になり気温の高い日も増えてきました。飲料水の準備や、タオルや帽子などの厚さへの対策も各ご家庭でよろしく願いいたします。

(青木 達也)

## 小3

新学期が始まり1カ月が経ちました。4月は私自身が子ども達を把握することから初めました。徐々に名前と顔が一致してくるなど分かるようになってきました。

4月は子ども達に「サッカーをやる環境を自分達で作っていこう」と話しをしてきました。サッカーの面では全力でプレーすること、集合を早くすること、話を聞くことを主に伝えています。また生活面では自分でできることは自分でやろうと話しています。具体的には忘れ物がないか確認をすること、挨拶をしっかりとやること、周りを見て自分で考えて行動をすることを話してきました。1カ月が経ちますがまだ習慣にはなっていないので、引き続きこれは伝えていこうと思います。また徐々にコーチに慣れてきて緩みがでる時期でもあるかと思っていますので、子どもでも良い事、悪い事を判断がしっかりとできるように時には強く伝えることもあるかと思っています。タイムリーに保護者の

方にお伝えすることは難しいとき  
はありますが、ただ怒られたとい  
うことにはならないように、そのよ  
うなことがあった際には保護者の皆  
様にも共有をさせて頂こうと思っ  
ておりますのでよろしくお願  
いいたします。

元気がよくとても子どもらしく良  
いところたくさんありますので、良  
い面を伸ばしていけるように努め  
てまいりますので今後ともよろしく  
お願いいたします。また、何かあ  
れば試合の際等には、お気軽に  
お声がけください。

(高山 貴紀)

## 小 2

### 【春季大会が始まります】

U-8の春の公式戦が5月8日(日)  
から始まりました(このトリコロールが  
お手元に届く頃には初日の結果が  
出ていることでしょう)。公式戦で  
から、かながわクラブの名誉をかけ  
て選抜されたベストメンバーで戦  
うべきだという考えもあります。し  
かし、サッカーを始めてわずか2年  
足らずのこの時期に、異様な高まり  
を見せる大人(保護者)たちの熱い  
視線のなか、指示通りに動かない  
子どもたちに、目くじらを立てる  
指導者の罵声を浴びて戸惑う子  
どもたちの姿を想像すると、あまり  
意味がないというのが実感です。そ  
れよりも、この年代では、港北小  
学校での活動で、個々の技術向上  
のトレーニングをすることの方が  
子どもたちにとっては意味がある  
と考えます。

とは言え、子どもたちが試合を  
経験して成長するという側面も見  
逃せませんし、勝敗に拘るよりは  
公式戦に出場したという経験を  
大切にしたいという観点から、  
三日間の試合日程(計5試合)の  
うち、クラブ員全員が最低でも  
一回は試合に出場できるように  
計画しました。子どもによって  
サッカーの技術や意欲に差があ  
ることも厳然とした事実です。  
ですから、全員を量的に平等に  
参加させるというよりは、質的  
な平等が図られるようにしたい  
と考えています。

### 【サッカーはお稽古事ではない!…】

所謂、お稽古事であれば、発表  
会と称して全員が均等に、これ  
までのお稽古の成果をお披露目  
する機会が与えられます。し  
かし、サッカーはお稽古事では  
ありませんし、公式戦は発表会  
とも異なります。チームの名誉  
をかけて(チームを代表して)戦  
う場ですので、チームとして最  
善を尽くして戦うことが求めら  
れますし、それが意味試合を運  
営してくれる幹事チームや対  
戦相手に対する礼儀ともいえ  
るでしょう。

しかし、かながわクラブでは、  
技術も意欲もそれなりのレベ  
ルに達していない選手が公式  
戦に参加するリスクも考慮し  
ながら、敢えて経験を積ませ  
ることを大事にしたいと思います。  
ぬるま湯につかっている状態  
のかながわクラブの子どもたち  
が、公式戦において、同じ年代  
のユニフォームの違う相手がど  
のような戦いを挑んでくるのか  
を肌で感じたら、何か心の中  
に芽生えるものがあるはず  
です。その何かに期待するの

です。

### 【一生懸命に…】

公式戦に出かけると目にする  
光景として、整列した子ども  
たちの大会本部への挨拶やグラ  
ウンド(の神様?)に向かって  
礼をするというものがあります。  
しかし、かながわクラブでは、  
そうしたことを子どもたちに  
させることはありません。大会  
本部への挨拶はコーチがしま  
すし、グラウンドに向かっての  
礼は、違った形で子どもたち  
に礼を尽くすことをさせま  
す。

具体的には、試合で一生懸命  
にプレーをすることです。一生  
懸命にプレーをすることはだ  
れにでもできることです(上  
手なプレーをするではありません  
)。グラウンドを提供してく  
れた大会本部のチームや相手  
のチームに対しては、勝っても  
負けても、最後まで全力を  
尽くしてプレーをすることが  
最大の礼儀だと考えます。  
ということで、どんな試合  
に臨むに際しても、一生懸命  
に、最善を尽くしてプレーを  
するという目標を、常に子  
どもたちには伝えていま  
す。

### 【練習してきたことがどれだけできるのか?…】

また、試合に臨んでは、これ  
まで練習してきたことがどれ  
くらいできるのかを試す場  
面でもあります。いつも言っ  
ているように、できないこと  
をできるようにするのが練習  
です。その練習で磨いてきた  
技術が、ユニフォームの違  
う相手に対して、どれだけ  
通用するのかを試してみま  
しょう。気後れする必要は  
ありませんし、恐

れることもありません。

折角のチャンスですから、練習の成果を試すためにチャレンジしてみましょう。チャレンジしなければ、何も新しいものは生まれません。相手のペースに気圧されて、無闇にボールを蹴り返したり、戦う気持ちを忘れて腰の引けたプレーに終始したりすることは意味がありません。試合では、練習で身につけたサッカーの技術を競うのですから。

### 【温かい目で…】

ただ、個々の子どもたちのサッカーの技術や意欲、そして理解力に差があるのも事実です。試合に臨む心構えのできていない子どももいるかもしれません。それは、まだまだ、指導者の指導力不足と言わざるを得ません。指導者としては、様々な刺激を与えながら、子どもたちの意欲を引き出そうと努力をしています。しかし、根底にはサッカーが好きであるということがないと、子どもたちはサッカーをしなくなります。サッカー嫌いにならないように、ゲーム的な楽しさであったり、競い合う面白さであったりという要素を普段のトレーニングでは加えています。子どもたちのサッカーに対する意識や取り組みを変えるためにも、この三日間の公式戦において、子どもたちが肌で感じたことが多少なりとも刺激となって、子どもたちの心に変化が芽生え、サッカーに対する取り組みに変化が現れることを期待するばかりです。保護者の皆様にも、温かい目で、そして長い目で見守っていただければと思います。

(佐藤 敏明)

## 幼児・小 1

### 【Tricolor Onze】

かながわクラブのユニフォームの胸についている三角形にはどんな意味があるかご存知でしょうか。三角形の3つの頂点は、サッカーに必要な3つのB：Ball-Control(ボールコントロール)・Body-Balance(ボディバランス)・Brain(頭脳)を表しています。

勢いよく向かって飛んでくるボール、弾んでいるボール、空中のボールを身体のいろいろな場所を使って、ワンタッチでコントロールし、ボールを運ぶ・蹴ることは、サッカーの重要な技術です。

しかし、どんなに技術が優れていても、それをいつ、どのように発揮するのかの判断力が無ければ役に立ちません。また、ボールを扱うときには必ず片足での動作になるため、片足状態でバランスを取れないと、様々な技術を正確に行うこともできません。相手のプレッシャーを受けながらも自分のイメージ通りにプレーできるか？ボールを奪われない・奪うための身体の使い方ができているか？ボールを自由自在に扱う技術、ボールコントロールを支えるボディバランス、そして、様々な状況下で自分で考え、判断する頭脳が、サッカーには必要となり、これらすべてを高いレベルで身につけることは、サッカーを本当の意味で楽しむ上で欠

かせない要素となります。その3つの要素を赤・青・白の三色(Tricolor)に表して、3Bを兼ね備えた選手の集団 Onze(フランス語の eleven)でありたい！これがかながわクラブの育成方針なのです。

毎回の活動では、「サッカーが楽しくてしょうがない」「練習日が待ち遠しい」と感じてもらえるような『安全で、快適な、楽しいサッカー』を提供できるように努めてまいります。

アフターコロナを迎え、保護者の皆さまが活動をグラウンドレベルで見られるようになった際には、子どもたちが今、どういうレベルのサッカーをして、次にどんなレベルに達しようとしているのか、そして、それに向けて一人一人が自発的に努力している様子を温かく見守っていただきたいと思います。

(浜野 正男)

## Papas

### 【Papas Over50&40】

横浜市サッカー協会シニア委員会が主管を務める横浜市民マスターズスポーツ大会(市リーグ)にPapasからOver50、Over40の2チームが参加しています。

昨年までと大きく変わったルールがあります。ある程度緩かった年代をまたいでの助っ人が行えなくなりました。3月に提出したメンバー表と当日のメンバー表の突き合わせを協会側で行うようになりました。

Over50は登録人数30名でスケジュール調整が必要になります。また、Rec・Compの試合と重ならないように土曜日に試合が組まれます。Rec・Comp以外のメンバーの参加が重要になります。よろしくお願ひいたします。

Over40についてはOver50を含むメンバー56名での調整になります。人数不足の時はOver50の皆さまご協力をお願いいたします。

2022年度ニッパツ三ツ沢競技場を目指して壮年サッカーを楽しみましょう。

(瀬長 義男)

## ヨーガ

### 【お寺で瞑想クラス】

ウクライナ支援のためのチャリティレッスンをきっかけに、マインドフルネス瞑想のクラスを行ってみたいという気持ちになりました。どの様な場所での実施が相応しいのだろうと考えを巡らせていたところ、以前に禅瞑想でお世話になったお寺のHPに「お寺を場所として貸し出しをします。」と掲載されているのを見つけました。

早速に連絡をして、私からの提案を聞いていただき、メールでのやりとりや、お堂を使わせていただくにあたっての様々な注意事項をお聞きする機会を経て、ついにお堂を使わせていただくことのお許しが出ました。うれしいです。どきどきです。

うれしい気持ちを抑えられず、

今日の水曜日ヨーガクラスの参加者の方々にもお話してしまいました。すると、なんと参加者全員の方々が「参加してみたい。」と仰ってくださいました。益々うれしいのですが、いつものヨーガクラスの実施場所からは少し遠いお寺です。どうしようかと思案していたところ、かながわクラブの豊田コーチが「お寺からオンラインで発信してはどうか。」という提案をしてくれました。益々、どんどんうれしくなります。

インド哲学では「カルマの法則」というものを学びます。「カルマ」とは「行い」のことを差す言葉です。人生にはいろいろな出来事がありますが、それらに「偶然はない。」というのがその「カルマの法則」の内容です。出来事には、それ以前にその出来事の「種」となる「カルマ」があったからこそ起きてくるというのです。チャリティレッスンの後に次々と訪れる「うれしい」「どきどき」「益々うれしい」は「カルマの法則」がくれるご褒美なのでしょうか。感謝の気持ちを持って楽しいイベントを企画したいと思います。

(伊藤 玲子)

**伊藤玲子先生のCD新発売！  
聴く！グナヨーガ**

聴く！  
**グナヨーガ**  
チェア

収録時間：52分  
ポーズ写真入りブックレット  
8ページ

聴く！  
**グナヨーガ**  
フロア

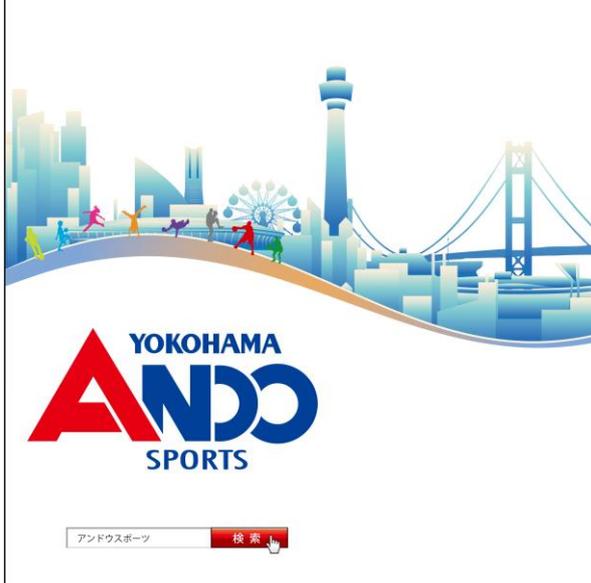
収録時間：59分  
ポーズ写真入りブックレット  
12ページ

**★お買い求め方法**  
 ①以下の薬局の店頭でご購入いただけます。  
 光和薬局 神奈川区片倉5-5-1  
 ※地下鉄片倉町駅前のARビル1階  
 TEL: 045-482-2215  
 坂田薬局 神奈川区三ツ沢中町7-9  
 ※地下鉄三ツ沢下町駅3番出口を右に出て、  
 徒歩5分  
 TEL: 045-321-3653  
 ②以下のグナヨーガ公式サイトからご購入いただけます。  
<http://www.gunayoga.com>  
 ③アマゾン (amazon) からご購入いただけます。  
 ④アイチューン (iTunes) からご購入いただけます。

**各1575円(税込)販売中**



日本テレビに出演



**YOKOHAMA  
ANDO  
SPORTS**

アンドウスポーツ

## 内田泰嗣税理士事務所

有限会社トップガン (ワンストップサービス)

税理士 内田 泰嗣

TEL/FAX 045-431-0408 〒221-0014 横浜市神奈川区入江 2-19-11 大口増田ビル 203号